

国 語

古典講読	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	1 古典としての古文を読む能力を養う。 2 ものの見方、感じ方、考え方を広くする。 3 古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書・副教材等	『014明解古典講読 日本の説話』（三省堂）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	配 当 時 間	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習 の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	イントロダクション 蜂飼いの大臣 清水寺のいさかい 桜の精 恵心僧都の母 I 宇治拾遺物語 伴の大納言の夢/ 説話を楽しもう	2 2 2 2 3	4 5	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動を把握しながら読む。 場面ごとの展開とその情景描写を読み取る。 「糸の付きたる針」のもつ意味について考える。 登場人物の人間味あふれる人物像を読み取る。 ・説話を読み、そのおもしろさについて考えるきっかけをつくる。	話し合い	第1学期中間考査
	百鬼夜行 歌詠みの徳/ 古文のことばづかい① 観音になった男 双六の賭け/ 説話の背景を調べよう1 呪いを知らせた犬	3 3 2 4 3	6 7	<ul style="list-style-type: none"> キーワードとなる語句に注目して物語を読み進める。 和歌の効果や説話中の意味について考える。 歴史的仮名遣いや古語について知識を深める。 登場人物の心情の変化に注目して読み進める。 <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の描かれ方の違いに着目して読む。 説話に登場する事物やことがらの中で、各人が興味をもったものについて調べ、発表し合う。 登場人物の言動に注目して展開を読み取る。 	古語辞典の活用 発表 相互評価	第1学期期末考査
【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート ② 授業ノート ③ 相互評価カード						
【第1学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価20%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第2学期	絵仏師の執心／ 読み比べよう1 夢を買う 亀の恩返し／ 古文のことばづかい② 袴垂と保昌 後の千金／読み比べよう2	4 3 3 2 3	9 10	<ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の人物像について考える。 ・古典作品と近代作品を読み比べる。 ・文章表現の具体的な意味を考えて、登場人物の人物像を想像する。 <ul style="list-style-type: none"> ・動物の報恩譚のおもしろさを読み取る。 ・古文の文章の特徴（助詞の省略、係り結びの法則など）を知る。 ・登場人物の発言をもとに、その心中を考える。 ・漢文に典拠のある作品を読む。 	漢和辞典の活用	第2学期 中間 考 査
	応天門炎上 今昔物語集 絵師と大工 舞茸／古文のことばづかい③ 玄象の琵琶 姨母捨山／読み比べよう3 武士の祭り見物	3 3 2 2 3 2	11 12	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとの内容をとらえ、登場人物の行動や心情について考えたり、歴史上のできごとについて調べたりする。 ・絵師と大工の技くらべのおもしろさを読み取る。 ・「あやしきこと」の内容について考える。 ・述語のしくみについて知識を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽器にまつわる霊異譚のおもしろさを知る。 ・登場人物の心情の変化を読み取るとともに、説話中の和歌の意味について考える。また、類話を読んでその違いや共通点について考える。 ・「貴族の文化」と「武士の文化」の違いに注目して、話の展開をつかむ。 	日本史との関連 資料の探し方 日本史との関連	
【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート ② 授業ノート						
【第2学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価20%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

第3学期	十訓抄 笛吹き成方 行成と実方／ 説話の背景を調べよう2 古今著聞集 義家と宗任 女盗賊 相撲の勝負	2 4 2 2 3 3	1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・貴族社会の上位者の横暴さに対する批判的要素を読み取る。 ・二人の登場人物の人生が、心根の違いによって大きく変わってしまったことを読み取り、その教訓について考える。 ・説話中の人物や事件などで興味をもったことについて、歴史的な背景を知る。また、レポートの効果的な書き方についても考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・源義家の人間性と武勇の腕前、評判について読み取る。 ・身分のある女性が強盗の首領であったことが判明するまでの、場面展開の巧みさを味わう。 <ul style="list-style-type: none"> ・相撲の節会という公的行事があったことを知るとともに、勝負の世界を越えた力士の存在意義があったことを読み取る。 	レポート 日本史との関連	第3学期 期 末 考 査
	【課題・提出物等】 ① 授業で使用したプリントやワークシート ② 授業ノート					
【第3学期の評価方法】 ① 提出物の評価と定期考査の成績、授業時に実施する小テストおよび学習活動への参加の姿勢や態度等を総合して評価し、10段階に評定します。 ② 学期全体の評価は、提出物の評価20%、期末考査の成績60%、小テスト10%、学習活動への参加の姿勢や態度10%です。						

【年間の学習状況の評価方法】

「関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「知識・理解」の観点で評価した、第1学期、第2学期、第3学期それぞれの成績を総合し、年間の学習成績として5段階で評定します。

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・「古典講読」は、古文の基礎を発展させる科目です。授業でさまざまな古典の文章を読むことを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりするようにします。また、語句の意味・用法、文法を理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。 ・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に感じた疑問などは、その場で質問をしてください。 ・課題・提出物等は期限内に必ず提出してください。 ・相互評価に際しては、客観的、建設的な評価を行うように努めてください。

(2) 評価の観点・内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に対する関心を深め、国語を尊重しその向上に努めているか。 ・進んで自分の意見や考えを表現し、伝え合おうとしているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫しているか。 ・古典の文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしているか。 ・古典の文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしているか。 ・古典の文章や作品の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しもうとしているか。 ・古典を読んで、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業の予習 ・授業ノート ・提出された課題
話す・聞く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・古文や漢文の調子などを味わいながら、音読、朗読、暗唱をしているか。 ・古典に表れた思想や感情の特徴、表現上の特色などについて話し合っているか。 ・自分の考えを持ち、筋道を立てて意見を述べているか。 ・相手の立場や考えを尊重して話し合っているか。 ・話し方や言葉遣い、文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して話しているか。 ・相手の話を的確に聞き取って、要旨をとらえることができているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・発表・報告・話し合いなどの姿勢や態度 ・授業での発言 ・授業ノート ・提出された課題
書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読んで関心をもったことなどについて調べ、文章にまとめているか。 ・古典の文章や作品を読み、言語感覚を豊かにしようとしているか。 ・書くために必要な情報を収集、整理しているか。 ・自分の考えをまとめたり深めたりしながら、筋道を立てて文章を書いているか。 ・言葉遣いや文体などの表現を、目的や場に応じて工夫して書いているか。 ・様々な表現効果について学習したことを、書くことや推敲に役立てているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への参加の姿勢や態度 ・授業ノート ・提出された課題 ・定期考査
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・古典を読むのに必要な知識を積極的に身に付けようとしているか。 ・古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を辞書などを用いて調べ、理解しているか。 ・中国など外国の文化と我が国との関係について理解を深めようとしているか。 ・音声・文法・表記・語句や語彙、漢字を理解して身につけているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・小テスト ・授業ノート ・提出された課題

(3) 担当者からのメッセージ

「古典講読」では、古典作品を読むことを通して、そこに描かれたものの見方や考え方を理解し、生涯にわたり古典に親しむ態度を育成することを第一のねらいとしています。これまでの古典学習で得たものをもとに、受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、また、授業のみならず、日常生活の中でも古典作品に触れる機会を作るようにしてください。兼好法師の言う「見ぬ世の人を友とする」ということを味わうつもりで参加しましょう。